

## 奥が深い光触媒

水分解に用いられる光触媒のキャリアダイナミクスについて理論研究を行なっています。堂免一成教授のグループが合成した光触媒を、産総研の物質計測標準研究部門松崎弘幸グループ長と東海林良太博士が過渡吸収分光法で計測したデータを **Vikas Nandal** 博士と共に理論解析しております。キャリアダイナミクスの理論解析以外にも、定常光照射下での光触媒の活性（なんと便利な言葉）を、半導体方程式を用いて計算しています。人工光合成化学プロセス技術研究組合との共同研究は9年以上になりました。この共同研究以前は、拡散、流体輸送、磁気緩和、電子移動反応等の研究を行なっておりました。当時、強烈な印象を受けた出来事がありました。・・・